



Take-Clock

Designed by Fumio Enomoto
Made in Japan by Lemnos Inc.



About material

現在、国内の家具やプロダクトには、輸入された広葉樹が多く使用されていますが、樹は一度伐採されるとまた成長するために再び50年以上の年月が必要となります。それに対しタケは、広くアジアや国内の温暖な里山に生育し、成長が早いため3~4年で成木として伐採・利用が可能であり、短期間に繰り返し使用できるとも持続可能性の高い循環型木質系素材です。

タケは、圧縮や曲げに強く弾力性があり物差しにも使われるくらい変形が少なく、また国内にも多く生えている「孟宗竹」には、タケキノンという成分が多く含まれ抗菌殺菌脱臭効果があるため病院などでも使用されていますし、さらにテルペンという芳香物質によるリラックス効果なども期待できる素材です。

タケは戦前まで日本人の生活において木や藁などと同様に日常のさまざまな道具やその材料として利用されてきましたが、戦後のエネルギー革命による合成樹脂などの新素材の普及と共に生産性や経済効率などの問題から徐々に利用されなくなり、そのために竹林が放置されることで、近年良好な自然環境の指標として再評価されている里山の、森林荒廃の原因になるなど各地で新たな環境問題となっています。

そのようなタケを再び家具やプロダクトの素材として利用することは、二酸化炭素の固定化のみならず里山保全や再生など多くの環境的メリットがあり、また木材の国産材利用や地産地消の推進に繋がるなど、デザインによる環境問題へのアプローチとして非常に有効です。

孟宗竹



Design

元々私たちの生活の中に当たり前にあったタケの道具でしたが、現在では殆どが合成樹脂製に置き換わりあまり身近で見掛けることがなくなりました。しかし、人工的な素材で作られた製品は新品のときが一番美しく使えば使うほど汚くなり最後は廃棄物になることに對し、木やタケなどの自然素材で作られたモノは使うことでより美しくなり、最後はまた自然に帰すことが出来ます。

そのようなタケを現代の道具の素材とするために、国内の環境問題や里山保全などにもつながる国産の孟宗竹集成材を使い、その素材感を新しいタケの表情として生かしながらシンプルなロングライフデザインを目指しました。そして本体に刻まれた溝の生み出す影を時間を表す指標としています。また、仕上にはタケの質感を生かす自然系の塗料を使い、健康や環境にも配慮しています。

ぜひこの時計と共に豊かな時間をお過ごしください。

榎本文夫

Take-Clock タケクロック

FE17-09 JAN : 4515030075851

φ240×d38mm 570g 孟宗竹（集成材） スイープセコンド ¥33,000(税抜価格¥30,000)



原竹



原竹分割



乾溜釜（竹片を炭化）



集成材加工



接着加工



時計枠NC加工



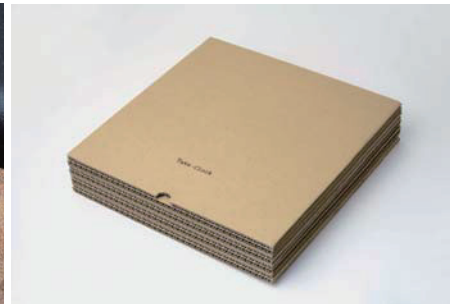


榎本 文夫
Fumio Enomoto

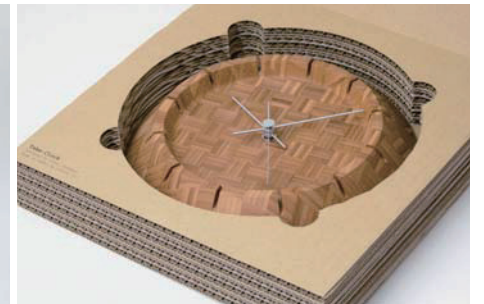
- 1979 東京造形大学造形学部デザイン学科卒業後、多木浩二教授を師事し研究生
- 1980 株式会社クラマタデザイン事務所勤務
- 1986 榎本文夫アトリエ設立
- 2002 駒沢女子大学人間総合学群住空間デザイン学類教授



裏面レーザー彫刻



積層ダンボールパッケージ



Lemnos

株式会社タカタレムノス

東京ショールーム・オフィス / 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-7-14 シャノワール文京 1F TEL : 03-5981-8120 FAX : 03-5981-8365

本社 / 〒933-0957 富山県高岡市早川 511 TEL : 0766-24-5731 FAX : 0766-22-8071

www.lemnos.jp info@lemnos.jp

※本体写真と実際の商品との色は印刷の関係上、若干異なる場合がありますので、予めご了承下さい。 ※無断転写・無断複写を禁じます。 Printed in Japan ©2017 TAKATA Lemnos Inc. All rights reserved.